

仕 様 書

委託名 市道・緑道剪定業務委託
委託場所 門真市内一円
契約期間 契約締結日から令和8年3月31日まで

1. 目的

本業務は、門真市が管理する植樹帯等の剪定を実施することにより、門真市内における樹木の維持管理及び住環境の保全を行なうことを目的として門真市（以下「発注者」という。）が発注する業務委託で、次に必要な事項について定めるものとする。

2. 委託内容

（樹木剪定）

- ① 病虫害による被害のある枝葉で、その生育及び感染して他の樹木の生育に害を及ぼす恐れのあるものは剪定する。
- ② 樹勢を衰弱させる徒長枝、土用芽、幹吹き、ヤゴ（ヒコバエ）等は剪定し、また対生枝や重枝はそのままにしないで、原則として互生にする。
- ③ 枝の方向性を考慮し、同一方向のみにむけないよう、また重ならないように剪定する。
- ④ 樹種固有の性質に逆らって伸びた枝や乱れ枝は剪定すること。
- ⑤ 樹冠を一定の形に維持もしくは縮小する場合、枝の先端を切り詰めることはせず、長い枝の途中から分かれている短い方を残し、その付け根から切り取ること。強い枝は短く、弱い枝は長くすることを基本とする。
- ⑥ 古枝で先端部が大きいこぶとなっているもの、また割れや腐れ等がある場合は、古枝の途中のよい方向の新生枝を見つけ、その部分から先端枝を切り取り、若い枝と切り返すものとする。古枝の切り取りは、鋸を使っておこなうこと。
- ⑦ 剪定順序としては、頂上枝から始めて下方枝に進んでいくようにする。
- ⑧ 剪定枝を落下させる場合は、樹木下の安全を十分に確認すること。
- ⑨ 歩行者並びに通行車両等には、施工位置を知らせ、危険の安全管理を行うこと。
- ⑩ 強剪定とは整姿を目的とし、主枝及び主幹に準ずる枝の切り取りを主とするものである。

- ⑪ 弱剪定とは、枯枝、逆行枝、徒長枝等樹木の生育上好ましくないものの切り取りを主とするものである。
- ⑫ 剪定した枝は速やかに後片付けを行うこと。

(薬剤防除)

- ① 使用薬剤は、スミチオン乳剤とし、展着剤を混合すること。
また、その他の薬剤を使用する場合は、監督職員と協議すること。
- ② 薬剤の使用に関しては、毒物及び農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカーで定められている使用安全基準、使用方法を遵守すること。
- ③ 使用材料の数量等は監督員の確認を受け、使用後の空ビン又はラベル等は検査時に提出するものとする。
- ④ 民家や駐車車両のある場所については、散布前に必ず住民に連絡するものとし、その方法は監督職員と協議し、散布時には、天候、風向き等に十分注意し、他の影響のないように作業すること。万一損害を与えた場合には、受託者の責任において処理すること。
- ⑤ 散布作業は、人体への影響を十分考慮し、ゴム手袋、マスク、帽子、メガネ、被服等安全なものを着用すること。
- ⑥ 材料（薬剤、展着剤）は、効力の維持、安全性を考慮し保管すること。
- ⑦ 散布は四方より樹木全体に掛け残しのないよう十分に散布すること。
- ⑧ 効果的に防除をするためにも監督職員と十分連絡をとり、害虫発生と同時に散布を行うこと。
- ⑨ 監督員の指示により、散布作業を中止させることがある。

3. 業務計画書

契約後速やかに業務計画書を提出し、その内容については次の事項とする。

- ① 業務計画、作業方法
- ② 業務工程表を月間一覧表にして提出すること。
- ③ 通常時及び緊急時における本市との連絡体制について。
- ④ その他必要と思われること。

4. 剪定枝の持込について

本業務で発生する剪定枝については、門真市クリーンセンターにて処分するが、持込については次の事項を遵守すること。

- ① 搬入時は契約書を携帯し、業者名や作業場所（発生場所）が確認できるようにする。
- ② 飛散防止対策をすること。

- ③ 乾燥した状態であること。
- ④ 搬入車両は 2 t 車以下であること。
- ⑤ 搬入台数は、ダンプ車なら 1 日 5 台、パッカー車は 1 日 2 台程度とする。
- ⑥ 枝等の搬入形状は、太さ直径 5 cm 以下、長さ 1 m 以下であること。
- ⑦ 受入期間は、月曜日～金曜日（祝日含む）午前 9 時 15 分～午後 4 時 00 分
（正午から午後 1 時 15 分を除く）。

5. 報告書作成

- ① 工事写真はデジタルカメラで撮影すること。提出にあたっては写真をアルバム整理すること。その他の提出書類についても本市監督職員と調整の上、提出すること。

6. 支払方法

完了払（担当課との協議後、請求書の受理日より 30 日以内の支払）

7. その他

- ① 委託業務は、本仕様書、業務委託契約約款を遵守して行うこと。
- ② 委託場所については監督員と協議を行い、事前に把握し、必要に応じた準備をすること。
- ③ 1 本当りの剪定量が少ない軽微な剪定業務については、剪定枝の搬出量にて剪定本数に換算する場合があるので、監督員と協議すること。
- ④ 本仕様書に定のない事項については、本市監督職員と協議のうえ、定めるものとする。